**2016年度 成果報告書**

成果報告書の提出は必須です。ここで提出いただいた原稿は、「JAXAスーパーコンピュータシステム(JSS2)利用成果報告書」の製作に使用します。

これまで、発信先が不明確・情報発信効果が薄い等の課題のあったJSS2利用成果報告書ですが、媒体・発信先・言語を再考し、より一層の活用に供するため、2016年度版より大きく見直しを行います。ひいては、スパコン利用者ご自身の情報発信ツールとしても使って頂けるようにしたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いします。(文責：スーパーコンピュータ活用課)

◆作成に関するお願いと注意

1. 成果報告書の提出をしていただけないと4/1以降継続してJSS2を利用することは出来ません（上述の主旨から、継続利用しない場合でも提出は必須です）。
2. 成果報告書は外部公開が前提となります。外部に公開しても差し支えのない範囲内で作成をお願いいたします。JAXAスパコンの意義・価値を広く情報発信するため、ご協力お願いいたします。
3. 紙媒体に加えて、電子媒体での製作も行います。記入いただいた全項目について電子媒体上で情報発信します。紙媒体に載せる項目は一部（事業名、事業コード責任者情報、事業の内容のアブストラクト、スパコン利用成果の図）のみとなります。
4. 成果報告書は、国内外の研究者、及びそれらの組織のマネージャ、広く一般の方々を対象とした情報発信としての資料を作成いたしますので、その想定の上で作成をお願いいたします。
5. 成果報告書は、日本語版、英語版の2種類を作成いたしますので、下記1.1項、1.2項、4項、5項、6項、7項、8項、9項については、必ず英文のご記入もお願いいたします。
6. 成果報告書は、事業コードごとに提出してください。
7. 記入漏れがないようにお願いいたします。

1. 事業コード

|  |
| --- |
| 【必須】 |

* 1. 事業名英語[紙媒体にも掲載]

※注意：日本語は既に事業コード申請に登録されているものを使用します。

|  |
| --- |
| 【Required】 |

1.2　事業コード責任者の英語情報[紙媒体にも掲載]

 　職員の場合の所属はJAXA部門名及びユニット名を入れてください。

記入例：Tarou Uchu，Aeronautical Technology Directorate, ○○Unit

※注意：日本語は既に事業コード申請に登録されているものを使用します。

|  |
| --- |
| 【Required】Responsible Representative ： Name, Organization ： |

1.3　事業コードのメンバ

日本語、英語とも、既に事業コード申請に登録されているものを使用しますので、ここではあらためてご記入いただきません。

2．利用分類

該当分野を選択してください（JAXA内の利用分類は事業コードにより詳細把握していますが、広く一般の方々へ事業内容を分かり易く見せるために本欄の選択もお願いしています。）。

選択方法は「1.航空分野(Aviation)」「2.宇宙分野(Space)」「3.基礎分野(Basic Research)」

「4その他(Other)」のうち1つに○を付け、それに付随する項目(アルファベット付)を内容に合せ複数選択(○を付ける)してください。

例：「1.航空分野(Aviation)」、「1a\_航空機(Aircraft)」・「1d\_機体安全(Aircraft security)」

1g\_などの「その他(other)」を選択する場合は、その後の括弧内に分野を英語で記載してくだい。

|  |
| --- |
| 【必須選択(Required)】1. 航空分野(Aviation)

1a\_航空機(Aircraft)，1b\_機体音響(Body sound)，1c\_機体構造(Body structure)，1d\_機体安全(Aircraft security)，1e\_運航(Flight operation)，1f\_航空機エンジン(Aircraft engine)，1g\_その他(other (please specify))(　　　)1. 宇宙分野(Space)

2a\_ロケット(Rocket)，2b\_ロケットエンジン(Rocket engine)，2c\_宇宙輸送(Space transportation)，2d\_衛星利用(Satellite utilization)，2e\_宇宙利用(Space utilization)，　　2\_f月・惑星(Moon, Planet)，2g\_宇宙機(Spacecraft)，2h\_衛星運用(Satellite operation)，2i\_宇宙工学(Space engineering)，2j\_宇宙科学(Space science)，2k\_宇宙理学(Space philosophy)，2l\_その他(other (please specify))(　　　)1. 基礎分野(Basic Research)

3a\_数値解析(Numerical analysis)，3b\_格子生成(Grid generation)，3c\_モデリング(Modeling)，3d\_CFD (CFD)，3e\_設計技術(Design technique)，3f\_燃焼(Combustion)，3g\_その他(other (please specify))(　　　)1. その他(Other)

4a\_スパコン利用・運用(Super computer utilization, operation)，4b\_ITシステム構築(IT System construction)，4c\_その他(other (please specify))(　　　　) |

3．もしあれば、当該事業の活動を紹介しているURLをご記入ください。

|  |
| --- |
| 日本語ページのURL: English Page URL: |

4．事業の目的

　　日本語と英語で（組織のマネージャ向けに伝わることを想定して）ご記入ください。

　　※注意：3項で記入いただいたURLのページに記載があれば省略可。

|  |
| --- |
| 【必須】日本語：*例文**「将来航空輸送のブレークスルーとしての超音速旅客機の実現を目指して「静かな超音速旅客機」の実現に必要な鍵技術を獲得し、航空機開発の先導役として、航空機製造産業の発展と将来航空輸送のブレークスルーに貢献することを目的とする。」*English： |

5．事業の目標

　　日本語と英語で（組織のマネージャ向けに伝わることを想定して）ご記入ください。

　　※注意：3項で記入いただいたURLのページに記載があれば省略可。

|  |
| --- |
| 【必須】日本語：*例文**「ソニックブーム強度を半減し得る低ソニックブーム設計技術を実証して技術優位性を示すとともに、小型超音速旅客機の実現を可能とする技術目標（①低ブーム設計技術の実証、②小型SST技術目標達成(ブーム半減、騒音低減、抵抗低減、軽量化)、③無人機技術の実証）を達成する。」*English： |

6．事業の内容のアブストラクト[紙媒体にも掲載]

　　200文字(50 words)程度で日本語と英語でご記入ください。(本欄は、広く一般の方々へ情報発信することを意識して、なるべく一般名詞を使い分かり易くご記入ください。)

|  |
| --- |
| 【必須】日本語：English： |

7．事業でのスパコンの用途・活用

　　日本語と英語で（組織のマネージャに伝わることを想定して）ご記入ください。

|  |
| --- |
| 【必須】日本語：English： |

8．事業でのスパコンの必要性

　　日本語と英語で（組織のマネージャ向けに伝わることを想定して）ご記入ください。

|  |
| --- |
| 【必須】日本語：English： |

9．今年度のスパコンによる成果[一部紙媒体にも掲載]

　　日本語と英語で（組織のマネージャ向けに伝わることを想定して）ご記入ください。

　　成果の図及び動画はできるだけ高解像度のものを複数提出してください。図・動画のサイズが重い場合には、以下のフォルダの下に事業コード名で格納してください。

\\tknas02.fsad.in-jaxa\セキュリティ・情報化推進部\受渡用フォルダ

計算情報は代表的なケースについて各項目に対して該当するものを選択及びご記入ください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【必須】日本語：English：

|  |
| --- |
| ＜Fig.1の図を添付＞ |

Fig.1 ： キャプション(Caption)

|  |
| --- |
| ＜Fig.2の図を添付＞ |

Fig.2 ： キャプション(Caption)(注記：Fig.3以降、行を増やして、適宜追記して下さい。)計算情報

|  |  |
| --- | --- |
| 項目(Item) | 入力欄【選択及び記入】 |
| 並列化手法(Parallelization Methods) | プロセス並列、スレッド並列、ハイブリッド並列、非並列 |
| プロセス並列手法(Process Parallelization Methods) | MPI、XPFortran、他(　　　)、非該当 |
| スレッド並列手法(Thread Parallelization Methods) | OpenMP、自動並列、他(　　　) 、非該当 |
| プロセス並列数(Number of Processes) | n プロセス |
| プロセスあたりのスレッド数(コア数)(Number of Threads per Process) | n コア数 |
| 使用ノード数(Number of Nodes) | n ノード数 |
| 1ケースあたりの経過時間(単位:時間) (Elapsed Time per Case (hours)) | n 時間 |
| 実行ケース数(Number of Cases executed) | n ケース |
| 利用計算システム(Systems Used for Jobs) | SORA-MA、SORA-PP、SORA-LM、SORA-TPP(複数選択可) |

 |

10．成果の公表状況

　　成果の公表状況をご記入下さい。もし、成果の公表がなければその理由をご記入ください。

|  |
| --- |
| 【必須】査読付論文1)2)：査読なし論文1)2)：口頭発表1)2)：Web上に研究成果が掲載されている場合のURL1)2)：その他1)2)：成果の公表が無い場合成果の公表が無い理由: |

11.成果報告書に関する確認等の対応者名

|  |
| --- |
| 【必須】所属：氏名：メールアドレス： |

12. 年間利用量[スパコン活用課で記入]

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | SORA-MA | SORA-PP | SORA-LM | SORA-TPP |
| コア割当時間[コア･h] |  |  |  |  |
| 利用試算経費［円］ |  |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| JSS2 SORA-FS(Quota量) | /home | /data | /ltmp |
| ストレージ利用量[GiB] |  |  |  |
| 利用試算経費［円］ |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| JSS2 J-SPACE利用量［TiB］ |  |
| 利用試算経費［円］ |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 総利用試算経費［円］ |  |